科目名	栄養指導論 Ⅰ	科目分類	□基礎教育科目　■専門教育科目 ■卒業必修 ■栄養士必修 □選択
英文表記	Nutrition Education Ⅰ	開講年次	■１年 □２年
ナンバリング	NG111G	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
ふりがな	とみおか　かなえ	授業形態・修得単位	講義・２単位
担当教員名	冨岡　佳奈絵	実施方法	■対面のみ　□遠隔のみ □対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	栄養指導の意義や目的を理解し、健康増進や QOL の向上のための栄養指導に関する基礎的知識を修得する。		
授業概要	栄養指導の概念、行動変容に関する理論やモデル及びカウンセリングの基本を解説し、それらを活用した栄養教育マネジメントサイクルに基づいて行う栄養指導について講義・演習を行う。		
到達目標	1. 健康教育やヘルスプロモーションと栄養指導の関係を理解し、栄養指導の意義・目的を説明できる。 2. 栄養アセスメントに基づいた栄養指導の計画立案、実施、評価、計画の見直し・改善の方法を理解する。 3. 栄養教育にかかわる理論・モデル・技法を説明できる。		
授業時間外の学習	事前学修：シラバスを確認し、次回の授業テーマのテキストを読んでおく。 事後学修：授業で配付された資料の整理及び復習、課題がある場合はその作成を行う。		
履修条件	指定するテキストを必ず用意すること。		

授業計画	
第１回	テーマ： 栄養指導の概念①　意義・目的
第２回	テーマ： 栄養指導の概念②　法規　国の施策
第３回	テーマ： 栄養指導の変遷①　変遷
第４回	テーマ： 栄養指導の変遷②　現状と課題
第５回	テーマ： 栄養教育にかかわる理論・モデル①　行動科学と栄養教育
第６回	テーマ： 栄養教育にかかわる理論・モデル②　刺激-反応理論、ヘルスビリーフモデル他
第７回	テーマ： 栄養教育にかかわる理論・モデル③　トランスセオレティカルモデル
第８回	テーマ： 栄養教育にかかわる理論・モデル④　ソーシャルサポート、コミュニケーション理論他
第９回	テーマ： 組織づくり・地域づくりへの展開
第 10 回	テーマ： 栄養教育マネジメント①　マネジメントで活用する理論・モデル
第 11 回	テーマ： 栄養教育マネジメント②　栄養教育マネジメントサイクル、目標設定
第 12 回	テーマ： 栄養教育マネジメント③　計画（教材の選択と作成、学習形態の選択）
第 13 回	テーマ： 栄養教育マネジメント④　実施、評価
第 14 回	テーマ： 栄養カウンセリング①　態度と倫理
第 15 回	テーマ： 栄養カウンセリング②　基礎的技法と実践（演習）
第 16 回	定期試験

テキスト	永井成美・赤松利恵「Visual 栄養学テキスト　栄養教育論　第３版」　中山書店
参考文献・資料	足立淑子編「ライフスタイル療法Ⅰ　第５版」医歯薬出版　他、授業時に適宜紹介する。 資料はポータルサイトまたは授業時に配付する。
成績評価の方法	定期試験（80%）課題（20%）で総合的に評価する。出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
オフィスアワー	木曜日 13:00～14:30
受講生に望むこと・受講のルール	テキストを必ず購入し、事前・事後学修を含め積極的な態度で授業に臨むこと。 課題は期限内に必ず提出すること。ポータルサイトを必ず確認すること。